

両毛パイプラインの取得について

平成 16 年 2 月 2 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：磯野 啓）は、両毛ガス事業協同組合（群馬県桐生市仲町、代表理事：塚越 平人）との間で、同組合が所有する両毛パイプラインを取得することについて合意しました。

両毛パイプラインは埼玉県本庄市から群馬県館林市及び栃木県佐野市を結ぶ延長 81km の天然ガスパイプラインで、両毛地区の伊勢崎ガス（株）、桐生瓦斯（株）、足利ガス（株）、佐野瓦斯（株）、館林瓦斯（株）への天然ガスの安定供給を目的に、これら 5 社で構成される両毛ガス事業協同組合によって、昭和 49 年に建設されたものです。同ラインは埼玉県本庄市で当社の東京ラインと接続されており、当社は昭和 49 年以来、これらを通じて同組合に国産天然ガスの卸供給を行ってきました。

両毛パイプライン沿線を中心とする北関東エリアには大きな潜在需要が見込まれ、当社が拡販を行う上での有望地域と捉えており、同組合との協議を通じて、同ラインを当社パイプラインネットワークの一環として運営、管理するとともに、需要開拓への協力も行っていくことにより、全体の経済性が向上し、組合 5 社を通じて沿線消費者の利益にも繋がるとの結論に至ったものです。

当社はこれまで、ライン沿線の需要増への対応と、新規供給エリアの拡大を通じた販売量増大を目的として、総延長約 1200km におよぶ幹線パイプラインの建設を進めてきました。今般の両毛パイプライン取得により、さらなる供給基盤の拡大を図り、地球環境に優しい天然ガスの一層の普及を目指してまいります。

記

1. 取得資産 : 両毛パイプライン、その付帯設備及び熱量調整施設一式
2. 延長等 : 約 81km、管径 267.4mm（10 インチ）、一部 165.2mm（6 インチ）
3. 設計圧力 : 約 2.0MPa
4. 輸送能力 : 日量約 400 千 Nm³（公称）
5. ルート区間 : 埼玉県本庄市今井～群馬県館林市新宿および栃木県佐野市久保町
6. 取得日 : 平成 16 年 10 月 1 日
7. 取得価格 : 約 50 億円

以上

天然ガスパイプライン図

